

同援だより

「お正月、和の音でスタート」
昭和郷第三保育園

2026年 新春号 (206号)



CONTENTS

私の抱負
施設通信
昭和郷フェスティバル

令和8年の年頭に当たり

理事長 飯山 幸雄



新年明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、本稿をお読み下さっている皆様のご健勝とご発展を心からご祈念申し上げます。

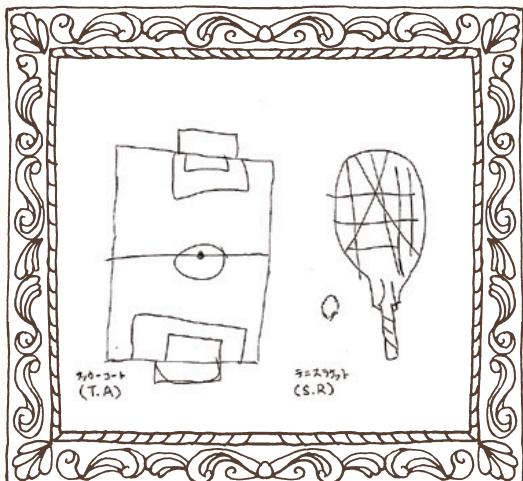
さて、昨年、政府は11月末に18兆円という超大型の補正予算を組むとともに21兆円に上る経済対策を打ち出しました。補正予算のうち、厚生労働省分は2兆3,252億円、こども家庭庁分は6,479億円です。これらに盛られた二省庁の施策の中で本会に関係するものとしては、厚生労働省の「医療・介護等支援パッケージ」(1兆3,649億円)のうち病院に対する基礎的支援が1病床当たり賃金8万4千円と物価分11万1千円の計19万5千円及び救急対応加算500万円、介護従事者に対する賃上げ支援が月額1万円(令和7年12月から6か月分、障害福祉従事者も同じ)、介護保険施設等の食品等の購入費等補助が定員一人当たり1万8千円等、また、こども家庭庁分では保育士等の公定価格上の人件費を5.3%改善、児童養護施設等の処遇改善が4.9%、物価高対応のための特例的な加算・補助が保育所1か所当たり10万円・児童養護施設こども一人当たり1万1千円など計上されています。

今、病院や社会福祉・児童福祉施設は押しなべて経営難に陥っています。その原因是、主に人材不足と物価高によるコスト増です。人材不足について深堀するととても長くなってしまいますので、端的に言いますと、一つは賃金が低いこと、二つには夜勤あるいは朝夕の当番があることなどが挙げられます。コストについて言えば、ロシアのウクライナ侵攻に端を発したエネルギー経費と食料品をはじめとする所物価の高騰等が挙げられます。先に述べた補正予算はこのような状態に対応したものと言えます。

しかし、賃金について言えば、これらの措置があっても介護職や保育職の賃金は全産業平均に比べれば低く、人を集めれる誘因としては不十分です。介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定は3年ごとなので次の改定は来年になりますが、政府は今年中に期中の臨時改定を行い介護職等の処遇改善を図る方向にあり、前記の賃上げ支援はその前ぶれと考えられます。こども家庭庁は昨年以来「保育の質の向上」を大きく打ち出していますが、保育士確保という面では前述の5.3%に加え公定価格の一層の改善を期待するところです。病院について言えば、今年の診療報酬の改定で大幅な引き上げがなければ病院を維持できないと日本病院会等病院関係団体が主張されていますが、そのとおりです。

本会各施設・病院の経営安定に向けて今年も一層努力すると、心を新たにすることです。

児童養護施設 双葉園



● お金をためる。

毎月のお小遣いを少しずつためてほしい
おもちゃを買う。 S.R

● サッカーをがんばる。中学ではサッカー部に入って、左ウィングかキーパーとして活躍する。 T.A

● マンガ大量買い！ T.S

● ひまになりたくないから、たくさんゲームして、たくさんあそびたい！ N.Y

私の

～年男・年女

東村山生活実習所



しまだ まゆさん

私は今年も生活実習所のみんなと一緒においしいものを食べたり、色々な所に行ったりしたいです。また、36歳の大人としてみんなのお手本になって、お父さんやお母さんに安心してもらいたいです。

午年だけにいろいろと上手くいきますように！
(母より)



いいだ まちこさん

笑顔いっぱいで活動に取り組んでいます。
ゴミ拾い、落ち葉掃きなどの美化活動が好きです。

毎日楽しく過ごしています。
これからも元気に過ごします！

抱負

の皆様～

立川福祉作業所



平井 舞子さん

『お料理したい』

家族とお鍋料理を作りたいです。具材は鶏肉、ちくわ、白菜、とうふ、しめじ、えのきです。材料は家族とスーパーに買いに行って、自分で切ります。あと、自分特製のカレーも作りたいです。



丸山 修一さん

『お餅を食べる』

お正月にお餅をペッタンペッタンついて、醤油つけて食べたい。あと、トミカのミニカーの75番、76番、59番、24番が欲しい。

サンホーム



長谷川 和子さん



北海道の紅葉を見に行くことです。素晴らしい色だと行った人が言っているので、私も見に行きたいのが夢です。



渡辺 良子さん



過日、新プロジェクトXにて、沖縄「美ら海水族館の誕生～ジンベイザメと巨大水槽」を観て、大きな感動を憶えた。
柱のない巨大水槽で大きなジンベイザメやマンタが悠々と泳ぐさま。
足腰がおぼつかなくなってきた昨今、見果てぬ夢かも知れない。改めて夢と感動を与えてくれる番組であることを知った。この「挑戦者たちの誇りと技術の結晶の物語」にこれからもそれぞれの感動を憶え、胸躍らせていくたい。



関 昭子さん



私らしい生き方で、80代前半となりました。年を重ね、流れに任せ、たどり着いた先がサンホーム。神様が与えてくれた安住の地と思っています。水彩絵の具とスケッチブックが私の友です。こんな時間がいつまでもつづきますように願う日々です。

／きらりいいね展／

小茂根福祉園 副園長 濱野 あきこ



利用者も職員も交代で
店に立ちました

小茂根福祉園は無印良品と3年にわたり、コラボ展示販売「きらりいいね展」を開催してきました。

令和5年7月丸井吉祥寺店から始まり、12月には地元板橋区の店舗「板橋南町22」で開催、令和6、7年は板橋南町22の1階フロアすべてを使用した大きな展示を行いました。

展示を通して、私たちはたくさんのお客様とお話をしました。

作品がどのように作られたのか、ユニークなエピソードは山ほどあり、ぜひお伝えしたいと思ってきました。利用者の皆さんの魅力再発見、職員間の楽しいやりとりも増えました。

お客様のお話を聞きすることもしばしばありました。多くは明るく温かなお話で、作品が呼び起こすものだと感じました。

「きらり」とひかる利用者の魅力を見つけ「いいね」と優しくおもしろがる感性を小茂根福祉園はコンセプトとしても大切にしています。形にする機会をくださった無印良品の皆様、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

残念ながら板橋南町22は11月に閉店となってしまったのですが、販売された作品が、それぞれの場の「きらりいいね」を生み、それが少しづつ広がって、この地域が「誰にとっても魅力ある」「住みやすく優しい街」（小茂根福祉園の基本方針より）になるよう願っています。

インスタグラムで小茂根福祉園のイベントや販売情報を発信しています。
よろしければご覧ください。



無印良品の紙袋
小茂根風味をプラス

施設 魅力

／やりたいことをやる／

ゆたか苑 園長 薄井 まさかず



熱い視線を送ります。

表題は高齢支援系職員にアンケート調査を行なった「ご利用者に対する職員の想い」を言語化したものです。コロナ禍により感染症対応に終始していた生活から日常生活を取り戻したいという職員の強い気持ちの表れの様に感じます。

ゆたか苑ではご利用者に大好きな野球観戦をしていただこうとコロナ禍以降実施出来ていなかった外出支援を企画しました。

「先ずは雰囲気作りが大切」と介護職員が私物の野球グッズを持ち寄り、毎日ユニフォームを身に纏っていただくことで気持ちを盛り上げるとともに、職員やwebでの情報収集から食事形態を考慮する中で召し上がるものや大好きなビールを飲んでも良いものか?と医務、栄養が連携して入念なシミュレーションを行いました。

外出支援当日は4月とは言え肌寒く体調が心配されましたが、ご本人たちはどこ吹く風と大好きな野球観戦とお食事や念願のビールを堪能しました。

たくさんの「笑顔」を引き出したいと総力戦で臨んだ外出支援ではありました。一番の笑顔は帰苑されて『ホッ』とした瞬間であり、ご利用者にとって施設が「安心できる場」なのだと改めて感じました。今後もご利用者の「心の拠りどころ」でありたいと思います。



準備万端です。



チャンスだ! かつ飛ばせ!



現在、トッピング中

～温かく包み込む居場所支援「ココット」～

サンライズ万世 少年指導員 田尾 勇祐

たお ゆうすけ

施設から退所した後、新しい生活をスタートさせた子どもたちにとって、いつでも安心して立ち寄れる「安全基地」があることは、心の大きな支えになります。そのため、私たちサンライズ万世では、退所した児童たちを対象とした居場所支援「ココット」を今年度より始めました。

「ココット」は、退所後も子どもたち自身を直接的に支援したいという願いから生まれました。この活動を通じて、子どもたち同士が旧友との再会や職員と継続的に関わることで、「実家」とまではいかなくても、ほっとできる社会的な居場所として活用してほしいと願い、長く関わり続けることを目指しています。

活動は毎月第3土曜日の午後2時から4時までの2時間開催されており、現在は令和6年以降に退所した20名の児童が登録しています。子どもたちには、おやつやジュースを用意し、自分で好きな物を選ぶ楽しみを提供しています。その他、職員との会話、児童同士の交流、カードゲームやswitchなど思い思いの時間を過ごしています。

今後は対象範囲を広げ、最終的には母子ともに気軽に立ち寄れる、温かい場所としてあり続けられる様に途切れることなく長期的な活動を続けていきたいと思っています。

【名前の由来】・・・ Comfort 安心(あんしん)・快適(かいてき)
Community 集(あつ)まり
Spot 居場所(いばしょ)

の3つの単語から文字を合わせ「ココット」と命名しました。耐熱容器でもあるココットのように、どんな物でも受け入れるという意味も込められています。



もうすぐ完成?出来上がり~

通信 発見

～子どもも大人も個性がきらり～

同援はいじま保育園 保育士 原口 綾香

はらぐち あやか

「園庭が無い」一見するとネガティブな印象を与える言葉が、実は同援はいじまの強みでもあります。園庭が無い分、子どもたちは毎日のように散歩に出かけ、四季折々の自然に触れ目を輝かせています。園舎も地下1階から4階の屋上までと縦に長いので、階段を毎日上り下りする中で、子どもも職員も足腰が鍛えられます。年長児になると、片道1時間程度の距離も難なく歩けるようになるほどです。

また、屋上からは、きれいな富士山も見えます。子どもたちは「今日の富士山」を観察することを自然に行っており、「雲がかかってるね」「雪で白くなってる!」と小さな変化にも気づくのです。

この、弱みを強みに変える姿勢は、職員の中でも活かされています。園内研修を通して、他者の強みを発見し、自分の弱みを見つめ直す。これは、ここ数年毎年必ず行っている取り組みの一つです。「苦手」「できない」ことを「自分の弱み」と捉えるのではなく自己研鑽の材料にし、他者から褒められたところを「自分の強み」として気づき仕事に活かす。こうした個性を認め合う姿勢は、開園当初から携わってきた職員たちによって築かれ、同援はいじまの魅力として今の職員にも受け継がれています。



富士山が見える屋上は、自慢のパワースポット!



会議中でも来園者から褒められる笑顔が.....



どんぐり見つけたよ♪

みんなで楽しもう！
笑顔あふれる秋の一日！

ええじゃないか 昭和郷 フェスティバル 開催報告!!

地元市長に来場
していただき、
恒例の、
「昭島大好き！」



プロフットサルチーム
立川アスレティックFCから、
元日本代表・皆本晃選手が
来てくれました！



キック
ターゲット



昭和郷第二保育園



東京都里親制度
PRキャラクターの
「さとぺん」ちゃんも
ご来場！



さくらホール

給食センター
キッチンカー
&屋台



北海道に本部がある
さくらネットワーク・システム
協同組合ご提供の
射的&工作コーナー。
じゃがいもと玉ねぎの景品は、
北海道ならでは！



射的
&工作
コーナー

3
↑
↑
↑
にほにこ園庭

わくわくエリア

子どもたち
大盛り上がりの
ゲーム＆縁日
コーナー！

縁日

ゲーム

パトカー試乗体験

昭島警察署の
協力による
パトカー試乗体験！
子どもも大人も
大興奮！

お客様との
やり取りが
楽しいバザー♪

万敬マルシェ（3/31閉園の万世敬老園より提供品を販売）の収益金は能登半島復興支援のため石川県庁へ寄付いたしました。

1 東村山生活実習所
Cafe Fluffy
焼菓子

2 小茂根福祉園
KOMONEST
自家焙煎コーヒー
オリジナル商品

3 立川福祉作業所
ベーカリー&カフェ
BAKUBAKU
パン各種

感染症流行のため
出演団体欠席も
急遽職員による
オステージで
カバー！

法務省矯正修習所による
性格検査コーナーは、
途中で限定数の100名に
達してしまうほどの
盛況ぶり！

今年のメイシイベント
福祉のおしごと
スタンプラリー!



今回のスタンプラリーの最大のミッション⇒“地域へ昭和郷内で働く福祉の仕事の認知・楽しく働く姿の披露”！！多くの参加者が郷内の職種を追いかけてシールをもらって喜んでいる姿の中は、なんとも言えない幸せを感じる空間となった。スタンプラリー実施後…我々はミッションクリア！を実感し、達成感に満ちあふれた。それが職員集合写真の笑顔に表れている…



参加者の声

スタンプラリーは、スタンプシートやシールもとても素敵で準備してくださいました方の想いを感じました。さまざまな法人の職種の方が、地域の方と交流する良い機会になったと思いますし、法人を感じて頂けたのではないかと思います。



職員の方が楽しそうにお店屋さんをしていたので子供達も楽しそうに参加していた。

秋の気まぐれな青空のもと、11月3日文化の日にたくさんの笑い声と幸せな笑顔である昭和郷フェスティバルが開催されました。今年のテーマはフジホームイベントを引き継ぎ“ええじゃないか！”。いつの時代もネガティブなことは変わらずあるもので、やはりそれを吹き飛ばすのは楽しいこと、明るいこと、なのではないでしょうか？明るくて楽しい中ではいろんなことを考え、いろんなことをやってみよう！という力が湧いてきます。昭和郷内施設だけではなく、近隣法人内施設、またその施設からのつながりの多くの団体の方たちのご協力を頂き、当日は大盛況のフェスティバルとなりました。市長や地域の皆様も多くご来場いただき、昭和郷ってこんなところ、が伝わっていたらうれしく思います！

地域の皆さんと一緒に福祉のまちづくりに努めていく、ことを楽しく続けていくことが私たちの使命の一つです。

実行委員 川村 純子（昭和郷第二保育園 園長）

復活の さやま園祭

さやま園祭 実行委員長 小松 たけし 剛志（生活支援員）

10月19日（日）、さやま園祭を開催いたしました。今年度は、6年ぶりに「ひかり苑」「サンホーム」との3園合同開催となり、あいにくの小雨模様ではありましたが、多くの皆さんにご来場いただき、会場は大いに賑わいました。

今回の開催にあたっては、さやま園祭を経験した職員が少ない中、6月より準備を開始しました。「たしか、こんな感じだったかな？」「あの時はこうだったかも」と、過去の記録や記憶をたどりながら、少しずつ形にしていきました。

新型コロナウイルスの影響もあり、名物だったたくあんの販売やフリーマーケットの開催は見送りとなりましたが、新たな形での「さやま園祭」として、無事に“復活”を果たせたのではないかと感じています。

当日は、迫力ある太鼓の演奏や沖縄音楽のステージ、東京ヴェルディによる体操プログラムなど、多彩な催しが行われました。また、合同開催ということもあり、ボランティアの皆さんにも多数ご協力いただきました。元職員の方々や、同法人の仲間たちが「さやま愛」を胸に駆けつけてくださいり、心より感謝申し上げます。「また参加したい」とのお声もいただき、大変嬉しく思っております。

6年ぶりの開催ということで、至らぬ点も多々あったかと思いますが、今回の経験を糧に、来年度はさらに充実した園祭を目指してまいります。ご興味のある方は、ぜひ次回のさやま園祭に足をお運びください。



模擬店 利用者も売り子として



焼き鳥
おいしいよー



心を込めて作った一点もの



東京ヴェルディによる体操



実行委員長を囲んで



保育グループ 感謝祭

同援いぐさ保育園 副園長 おざわ 小澤 崇之 たかゆき

9月20日（土）保育グループでは、「THANKS GIVING FESTIVAL 2025」を同援さくら保育園にて開催しました。研修後の開催でしたが、70名近くの職員の方が参加しました。各園対抗によるクイズ大会、他園と混合チームに分かれて交流を深めるアクティビティゲームなどを実施し、笑顔溢れる会となりました。



各園対抗クイズ大会

「明日も行きたくなる保育園」を目標に掲げ、職員間のチームワーク、他園との交流を深めることを目的にして、副園長主任会を中心となり昨年発案し、今年度形になるよう準備を進めました。

ゲームはどのチームも真剣そのもの。全力で取り組む姿や、一人ひとりの意外な一面も垣間見



どこよりも早く、真剣そのもの



チームで協力

ることができました。他園の雰囲気や様子を知り、仲間がいることの安心感を得るきっかけになれたらと感じます。そして何より、日々頑張っている職員の人たちに「ありがとう」と感謝の気持ちを伝える場となったことを嬉しく感じます。仕事をしていく上でも、きちんと日々の感謝を改めて伝えることを今後も大切にしたいです。

次回は、身体を動かしたいという声がすでにあがっているようなので、広い場所で身体も動かして楽しめる内容を今から模索している所です。この「THANKS GIVING FESTIVAL」をきっかけに、明日も行たいと思える保育園に一歩近づいたのなら幸いです。



クイズ大会優勝：同援いぐさ保育園

3園合同焼き芋会

大山保育園 保育士 川口 まい
かわぐち まい

同援さくら保育園、みなと保育園、大山保育園の3園での交流が行われました。焼き芋会に招待され、親子芋ほり遠足で掘ったさつま芋を抱え、同援さくら保育園へ向かいました。他園との交流は今年度二回目という事で、子ども達も楽しみに準備を進めていました。一度交流をしていたこともあり、「(同援)さくら保育園に行くんだよね、どうやっていくの?」と他園の名前を覚えていたり、行き方に興味を持つ子もいて、もう一度会って一緒に過ごすことを楽しみにしている様子が見られました。電車に乗り、歩いてさくら保育園へと向かう道中では、いつもとは違う環境にドキドキしている子ども達でした。



きれいに洗うよ!

到着後は公園に行き、「じゃんけん列車」「しっぽ取り」「ボール運びリレー」をして楽しました。ルールの確認をし、いよいよゲームのスタート!同じ保育園の友達を意識しつつ、他園の子ども達と関わろうとする姿が見られました。話しかける時には緊張しながらも、頑張って話しか



ボールまだかな?

けている様子がとても印象的でした。相手の子も緊張した表情で応えながらも、一緒にゲームを楽しむことが出来ていました。保育園対抗でのゲームや、3園合同でのチーム分けによるゲームで、クラスの絆が深まるだけではなく、他園の友達に対する興味や、話しかける勇気が育まれたと感じました。



お芋焼けるかな!

ゲームが終わり、保育園に戻ると焼き芋会の準備が進められていました。自分たちが掘ったさつまいもが、実際に焼きあがるところを見たり、甘い出来立ての焼き芋を園庭で食べるという、とても貴重な経験をしました。みんなで園庭で食べた焼き芋は、ほくほくでとても美味しかったです。



甘くて、おいしい!

食べた後は大山保育園にはない広い園庭で遊び、遊具への魅力をたっぷり感じることが出来ました。子ども達にとって楽しくて、美味しい思い出がたくさん的一日でした。

ご支援ありがとうございます。大切に使わせていただきます

(敬称略順不同)

ご寄付

昭島市自治会連合会第4ブロック
ブロック長 井上三郎

昭島ガス(株)
代表取締役社長 平畠文興

さくらネットワーク・
システム協同組合

(特非)ピースワインズ・
ジャパン

竹内 紀代子

下田 初穂

(株)橋本工務店
代表取締役 橋本誠一

さやま園保護者会

(特非)プレイグラウンド・
オブ・ホープ

豊野秀一

(株)北川商店
北川穰一

(公財)SBI子ども希望財團

(株)アビック

後援会

幡野信子

山田春子

雪印メグミルク
下坪牛乳販売店 下坪唱三

(株)ミートショップの鈴政

◇株渡辺テント
代表取締役 渡辺厚志

(株)八王子アイスフードセンター

風間造園(株)
代表取締役 風間修一

戸山商事(株)

志田原陽果

(有)海老山

(株)昭和造園

(株)サン・ホワイト
代表取締役 三宅真

◇創洋紙商事(株)

(有)ラッコクリーンサービス
代表取締役 佐々木憲寅

(株)安江設計研究所
代表取締役 安江知之

川井文子

唐沢電気(株)
代表取締役 小林利美

(株)薬袋造園

さくらネットワーク・
システム協同組合

◇ワタキューセイモア(株)

(株)ハーティー
マネージメント

東京冷機工業(株)

【2025年10月16日～12月15日 受付分】

資格取得の紹介

次の方が資格取得しました。

日頃の業務に生かしご活躍を期待します。

【社会福祉士】

■ゆたか苑 介護職員 稲葉未季

【介護福祉士】

■さやま園 生活支援員 佐々木瑠星
■小茂根福祉園 生活支援員 金川克利

【公認心理師】

■原町小規模多機能居宅介護センター
介護職員 小金澤茉由

祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の方々が表彰されました。
おめでとうございます。

【東京都知事感謝状】

■双葉園 保育士 木村早苗

杂感

お世話好きだった伯母の影響からか、家族や友人などについて「おせっかい」が出てしまい、わざわざいと思われることも少なくはありません。心理学において、「バウンダリー（自分と他者との境界線）」を意識することが大事といわれています。相手の境界線を尊重しつつ、自分の境界線も明確にすることで、お互いを尊重し合える関係が築けるという考え方で、私も意識しながら生活しております。

一方で災害や人命に関わる緊急時は、「おせっかい」が功を奏する例が多くあります。大分市佐賀関大規模火災で避難された方は、「火事に気付いた人が各家にどんどん上がりこんで『逃げて！』と、声をかけ続けてくれたおかげで助かった。おせっかいの輪が多くの避難につながった」と話されていました。

大切に思う人たちに対して、平時は「バウンダリー」を意識し健全な距離感を保ち、その人の緊急事態こそは伯母仕込みの「おせっかい」を存分に發揮し、声をかけ続けていきたいです。

(ニューフジホーム 片岡)

発行者 飯山幸雄
社会福祉法人 東京都同胞援護会
東京都新宿区原町3-8
電話 03(3341)7161 <https://doen.jp>

印刷所 東京都同胞援護会事業局
東京都墨田区両国4-1-8

令和8年1月13日 発行

